

大学番号：私212

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

ルーテル学院大学 総合人間学部 人間福祉心理学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人ルーテル学院
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務センター

職名・氏名 シュサ 主査 サカタ 坂田 ヨシカズ 好和

電話番号 0422-31-4611

（夜間） 0422-31-4612

F A X 0422-33-6405

e-mail honbu@luther.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

	頁
1 調査対象大学等の概要等 . . .	1
2 授業科目の概要 . . .	5
3 施設・設備の整備状況,経費 . . .	12
4 既設大学等の状況 . . .	13
5 教員組織の状況 . . .	14
6 留意事項に対する履行状況等 . . .	23
7 その他全般事項 . . .	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人ルーテル学院

(2) 大学名

ルーテル学院大学

(3) 大学の位置

〒181-0015
東京都三鷹市大沢3-10-20

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(マツザワ カズコ) 松澤 員子 (平成23年1月就任)		
学長	(イチカワ カズヒロ) 市川 一宏 (平成14年4月就任)	(エトウ ナオズミ) 江藤 直純 (平成26年4月就任)	平成26年3月31日付、任期満了により退任 平成26年4月1日付、学長就任(26)
学部長	(イチカワ カズヒロ) 市川 一宏 (平成14年4月就任)	(エトウ ナオズミ) 江藤 直純 (平成26年4月就任)	平成26年3月31日付、任期満了により退任 平成26年4月1日付、学部長就任(26)
学科長等		(エトウ ナオズミ) 江藤 直純 (平成26年4月就任)	平成26年4月1日付、学科長就任(26)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
総合人間学部 人間福祉心理学科 学士(総合人間学)	4年	90人	20人 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成23年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	90人 (-) [-]		1.00 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	178 (-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	166 (-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	124 (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	90 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A							1.00			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[1]	[-]	
							90	—	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[]		[]		[]		[1]	[]	
							90		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	90人	0人	平成26年度	0人	0人	該当なし	0 %
合 計	90人	0人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

〈総合人間学部 人間福祉心理学科〉

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目群	総合人間学	1 前	2			5	1				兼1	オムニバス 担当者(准教授)の教授昇任による変更(26)
	聖書を読む	1 後	2			3-2	0+	1				
	キリスト教概論 I	1 前	2					1				
	キリスト教概論 II	1 後	2	2				1				
	社会福祉原論 I	1 前	2			1						
	社会福祉原論 II	1 後	2	2		1						
	心理学	1・2 前	2						1			
	心理学 II	1・2 後	2	2					1			
	コミュニケーションの理論	1 後	2			4	1		1			オムニバス
	生命・生態・進化 I	1・2・3・4 前	2	2		1						
	生命・生態・進化 II	1・2・3・4 後	2	2		1						
	スポーツと健康(体育実技を含む)A	1 前	2								兼1	※実技
	スポーツと健康(体育実技を含む)B	1 後	2								兼1	
	海と森の生物 I	2・3・4 前	2	2		1						
	海と森の生物 II	2・3・4 後	2	2		1						
	地球と宇宙I	1・2・3・4 前	2								兼1	隔年
	地球と宇宙II	1・2・3・4 後	2								兼1	隔年
	自然科学の視点 I	1・2・3・4 前	2			1						隔年(2015年度開講対象科目)
	自然科学の視点 II	1・2・3・4 後	2			1						隔年(2015年度開講対象科目)
	中世史との対話	1・2 前	2								兼1	隔年(2015年度開講対象科目)
	近世史との対話	1・2 後	2								兼1	隔年(2015年度開講対象科目)
	憲法	1・2 前	2			1						
	法学	1・2 後	2			1						
	社会学	1・2 前	2								兼1	
	社会学 II	1・2 後	2								兼1	
	政治学(国際政治を含む)	1・2 後	2								兼1	隔年(2015年度開講対象科目)
	文学 I	1・2 前	2								兼1	隔年
	文学 II	1・2 後	2								兼1	隔年
	教養としての哲学	1・2 前	2								兼1	
	哲学と論理	1・2 後	2								兼1	
	教育学	1・2 前	2								兼1	
	音楽の基礎	1・2 前	2								兼1	
	音楽の実際	1・2 後	2								兼1	
	コミュニケーションの演習	1 前	2			1	1	1				
	異文化間コミュニケーション	2・3・4 後	2			1	1					隔年/オムニバス(2015年度開講対象科目)
	キャリア概論 I	2 前	1					1			兼1	オムニバス
	キャリア概論 II	2 後	1					1			兼1	オムニバス
	コンピュータ入門 I	1・2・3・4 前	2			1						
	コンピュータ入門 II	1・2・3・4 後	2			1						
	情報言語コミュニケーション I	2・3・4 前	2			1						
	情報言語コミュニケーション II	2・3・4 後	2			1						
	英語Reading	1前・後	2			1						
	英語Speaking/Listening	1 前	2			1					兼1	
	英語Writing/Grammar I	1 前	1			1					兼1	
	英語Writing/Grammar II	1 後	1			1					兼1	
英語特別演習(Independent Study)	2・3・4 通	1			1							
英語Reading演習A(基礎)	2・3 前	1			1							
英語Reading演習B(発展)	2・3 後	1			1							
英語Speaking/Listening 演習	2・3 前	2			1					兼1		
英語Writing 演習	2・3 前	1			1						隔年	
ドイツ語 初級A(読本・会話) I	1 前	1								兼1		
ドイツ語 初級A(読本・会話) II	1 後	1								兼1		
ドイツ語 初級B(文法)	1 前	2								兼1		
ドイツ語 中級A(講読・会話) I	2 前	1								兼1	隔年	
ドイツ語 中級A(講読・会話) II	2 後	1								兼1	隔年	
ドイツ語 中級B(文法)	1 後	2								兼1		
外国の言語と文化 初級(韓国語)	1・2・3・4 前	1								兼1		
外国の言語と文化 中級(韓国語)	1・2・3・4 後	1								兼1		
外国の言語と文化 初級(中国語) I	1・2・3・4 前	1								兼1		
外国の言語と文化 初級(中国語) II	1・2・3・4 後	1								兼1		
外国の言語と文化 (フィリピン語)	1・2・3・4 後	1			1		0+				担当者(准教授)の教授昇任による変更(26)	
日本語特講(留学生) I	1・2 前	1								兼1		
日本語特講(留学生) II	1・2 後	1								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国人間学 語学原典講読科目群	英語聖書Ⅰ	1・2 前		1							兼1	オムニバス 担当者(准教授)の教授昇任による変更(26)
	英語聖書Ⅱ	1・2 後		1							兼1	
	神学初級演習	1 後		2		1						
	旧約聖書原典講読	2 通		2								
	新約聖書原典講読	3・4 後		2								
	ドイツ語聖書	2 前		2								
	ヘブル語	2 通		8		1						
	ギリシア語	3 通		8								
	社会福祉英専門書講読	2・3・4 後		2		1	0 +					
	臨床心理英専門書講読A	2・3・4 前		2								
臨床心理英専門書講読B	2・3・4 後		2									
臨床心理英語論文読解Ⅰ	2・3・4 前		2			1	0 +				担当者(講師)の准教授昇任による変更(26)	
臨床心理英語論文読解Ⅱ	2・3・4 後		2			1	0 +				担当者(講師)の准教授昇任による変更(26)	
総合人間学 総合演習科目群	卒業演習プレゼминаール	3 前		1		1						担当者(准教授)の教授昇任および担当者(講師)の准教授昇任による変更(26)
	卒業演習Ⅰ	3 後		2		6 5	3	1 2				
	卒業演習Ⅱ	4 前		2		6 5	3	1 2				
	卒業演習Ⅲ	4 後		2		3	2 +	1 2				
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	3 後		2		5 4	1 2					
	ソーシャルワーク演習Ⅵ	4 前		2		5 4	1 2					
	卒業論文	4 通		4		14 12	4 5	1 2				
総合人間学 キャリア形成科目群(キリスト教人間学系)	世界の宗教Ⅰ	1 前		2			1					履修者がいなかったため(26)
	世界の宗教Ⅱ	1 後		2			1					
	文化史	1・2・3 前		2			1					
	比較文化論	3・4 後		2			1					
	いのちのキリスト教史	2・3・4 後		2		1	0 +					
	日本における死生学	4 前		2		1						
	キリスト教と死生学	4 後		2		1						
	キリスト教カウンセリング	3・4 後		2								
	キリスト教の歴史Ⅰ	3 前		2		1	0 +					
	キリスト教の歴史Ⅱ	3 後		2		1	0 +					
	聖書入門Ⅰ(旧約)	2 前		2								
	聖書入門Ⅱ(新約)	2 後		2								
	旧約聖書の人間観	3 後		2		1						
	新約聖書の人物像	3 前		2								
	聖書に見るジェンダー	3・4 後		2								
	スピリチュアリティと聖書の伝統	3・4 前		2		1						
	美術史	2・3・4 前		2								
	キリスト教美術特講	2・3・4 後		2								
	キリスト教文学特講Ⅰ	2・3・4 前		2								
	キリスト教文学特講Ⅱ	2・3・4 後		2								
	キリスト教音楽実技Ⅰ	3 前		2								
	キリスト教音楽実技Ⅱ	3 後		1								
	キリスト教音楽実技Ⅲ	4 前		1								
礼拝音楽と讃美歌	4 後		2									
日本の宗教Ⅰ	3 前		2			1						
日本の宗教Ⅱ	3 後		2			1						
キリスト教の信仰	4 前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
総合人間学キャリア形成科目群(福祉相談援助系)	ソーシャルワーク論Ⅲ	2 後		2		1								
	ソーシャルワーク論Ⅳ	4 後		2		1								
	ソーシャルワーク論Ⅴ	4 前		2								兼1		
	ソーシャルワーク論Ⅵ	4 後		2								兼1		
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開	3・4 後		2		1								
	介護概論	1・2 前		2									兼1	
	高齢者福祉の諸問題	2 前		2		1								
	高齢者福祉論	2 後		2		1								
	障害者福祉の諸問題	2 前		2		1								
	障害者福祉論	2 後		2		1								
	保健医療サービス	3 後		2									兼1	
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2 前		2									兼1	
	精神保健福祉に関する制度とサービス	2 後		2									兼1	
	精神障害者の生活支援システム	2 後		2									兼1	
	SST	2・3・4 前・後		2										兼2
	権利擁護と成年後見制度	1・2 後		2		1								兼1
	公的扶助論	2 後		2										兼1
	就労支援サービス	3 後		2		2								兼1
	更生保護制度論	2 後		2		1								兼1
	医学一般	2 前		2										兼1
精神保健	1 前後		2		1								時間割調整のため開講期変更(26)	
精神医学	2 前後		2		1								時間割調整のため開講期変更(26)	
聴覚障害者のコミュニケーション	1・2・3・4 後		2										兼1	
ソーシャルワーク演習Ⅰ	1 前		2		4	3	0	+					オムニバス 担当者(准教授)の教授昇任による変更(26)	
ソーシャルワーク演習Ⅱ	1 後		2		3	2	1	2					オムニバス 担当者(准教授)の教授昇任による変更(26)	
ソーシャルワーク演習Ⅲ	2 前		2		4	1							オムニバス	
ソーシャルワーク演習Ⅳ	3 前		2		3	1							オムニバス	
キャリアアップゼミ	4 後		2		6	5	1	2					オムニバス 担当者(准教授)の教授昇任による変更(26)	
社会福祉特講A	4 後		2		1	1							オムニバス	
社会福祉特講B	4 後		2		1								兼1	
総合人間学キャリア形成科目群(地域福祉開発系)	社会福祉と国際協力	2・3・4 前		2		1	0	+						担当者(准教授)の教授昇任による変更(26)
	社会保障論Ⅰ	2 前		2		1								
	社会保障論Ⅱ	2 後		2		1								
	地域支援技法Ⅰ	4 前		2		1	0	+	1					兼1
	地域支援技法Ⅱ	4 後		2		1	0	+	1					兼1
	福祉行財政と福祉計画	3 後		2		2								
	福祉サービスの組織と経営	3 後		2					1					
	社会福祉調査	3・4 後		2					1					
	福祉実践調査	4 前		2					1					
	地域開発総論	4 前		2		3	2	1	2					
社会福祉特講C	3 後		2		1									オムニバス 担当者(准教授)の教授昇任による変更(26)
(総合人間学キャリア形成科目群) 子ども支援系)	保育原理と保育士の専門性	2 前		2										兼1
	児童福祉論	2 後		2		1								
	レクリエーションとグループリーダー	2 後		2										兼1
	発達障害の理解	2 休		2										兼1
	家族福祉論	3 休		1										兼1
	家族心理学	2・3・4 前		2										兼1
	子どもと教育	3 前		2										兼1
	子どもと家族の国際問題と支援	3 後		2		1	0	+						
	子どものプレイセラピー	3 後		2		1								
	虐待への対応	3 後		1		1								
	教育カウンセリング	2・3・4 後		2						1				
	家族療法	2・3・4 後		2										兼1
	小児と高齢者の栄養	3・4 後		2										兼1
	子ども支援キャリアデザイン	1・2・3 前		1		1								
	野外活動とキャンプ	3・4 前		2		1	1							
子どものグリーンワーク	3 後		1		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合人間学キャリア形成科目群 (臨床心理系)	臨床心理フレッシュマンゼミ	1 後		2			1	0 +	1			担当者(講師)の准教授昇任による変更(26)
	臨床心理学概説	1 前		2				1				
	臨床心理の倫理	2・3・4 後		2				1				
	心理療法演習	2・3・4 後		2				1				
	青年心理学	2・3・4 前		2				1				
	心理学研究法Ⅰ(統計基礎)	1 後		2		1						
	心理学研究法Ⅱ(質的研究)	2・3・4 前		2							兼1	
	心理学研究法Ⅲ(データ解析)	2 前		2							兼1	
	質問紙調査法実習	3 前		2		1						
	人間行動観察実習	3・4 前		2					1			
	心理検査技法Ⅰ	2・3・4 前		2				1				
	心理検査技法Ⅱ	2・3・4 後		2				1				
	学習心理学	2・3・4 後		2							兼1	
	認知心理学	2・3・4 前		2							兼1	
	生理心理学	2・3・4 休		2							兼1	集中
	神経心理学	2・3・4 休		2							兼1	集中
	カウンセリングの理論	1・2 前		2				1	0 +			担当者(講師)の准教授昇任による変更(26)
	絵画療法	2・3・4 休		1							兼1	集中
	箱庭・コラージュ療法	2・3・4 休		1							兼1	集中
	自律訓練法	1・2・3 休		1							兼1	集中
	サイコドラマⅠ	2・3・4 前		1		1						
	サイコドラマⅡ	2・3・4 後		1		1						
	サイコドラマⅢ	2・3・4 前		1		1						
	サイコドラマⅢ演習	2・3・4 前		1		1						
	人格心理学	2・3・4 後		2							兼1	
	交流分析	2・3・4 前		2							兼1	
	社会心理学	2・3・4 休		2							兼1	集中
	産業組織心理学	2・3・4 後		2							兼1	
精神分析学	2・3・4 前		2							兼1		
ストレス学	2・3・4 後		2				1					
犯罪心理学	2・3・4 休		2							兼1	集中	
臨床心理特講A(大学院進学支援講座)	2・3・4 前		2					1				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
6	252	0	258	6	252	0	258	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	各種学校 日本ルーテル神学校と 共用 (収容定員40名)				
	校舎敷地	9,141㎡	0㎡	2㎡	9,143㎡					
	運動場用地	5,629㎡	0㎡	0㎡	5,626㎡					
	小 計	14,770㎡	0㎡	2㎡	14,772㎡					
	そ の 他	9,378㎡	0㎡	0㎡	9,378㎡					
	合 計	24,148㎡	0㎡	2㎡	24,150㎡					
(2) 校舎	専 用	6,174㎡	985㎡	210㎡	7,369㎡	各種学校 日本ルーテル神学校と 共用 (収容定員40名) (面積基準115.7㎡)				
	(6,174㎡)	(985㎡)	(210㎡)	(7,369㎡)						
(3) 教室等	講義室	16室	演習室	0室	実験実習室	6室	情報処理学習施設	2室	語学学習施設	0室
						(補助職員 0人)		(補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	総合人間学部 人間福祉心理学科			29 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点			
	総合人間学部	117,000 [38,400] (119,049 [37,743])	430 [140] (404 [112])	10 [5] (1 [1])	1,100 (1,049)	0 (0)	0 (0)			
	計	117,000 [38,400] (119,049 [37,743])	430 [140] (404 [112])	10 [5] (1 [1])	1,100 (1,049)	0 (0)	0 (0)			
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	1,050㎡	95席		141,000冊						
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	なし	グラウンド		テニスコート (1面)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	7,000千円	7,000千円	7,000千円		
	共 同 研 究 費 等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	10,000千円	10,000千円	10,000千円			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,240千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、寄付金 等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	ルーテル学院大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
総合人間学部									AC対象学部学科等についても本様式に記入してください。
キリスト教学科	4	—	3年次 2	—	学士 (神学・ 初級教学)	1.23	昭和62年度	東京都三鷹市 大沢3-10-20	平成26年4月より 学生募集停止
社会福祉学科	4	—	3年次 10	—	学士 (社会福祉学)	1.02	昭和62年度	東京都三鷹市 大沢3-10-20	平成26年4月より 学生募集停止
臨床心理学科	4	—	3年次 8	—	学士 (臨床心理学)	1.40	平成17年度	東京都三鷹市 大沢3-10-20	平成26年4月より 学生募集停止
人間福祉心理学科	4	90	3年次 20	400	学士 (総合人間学)	1.00	平成26年度	東京都三鷹市 大沢3-10-20	
総合人間学研究科									
社会福祉学専攻									
博士前期課程	2	10	—	20	修士 (社会福祉学)	1.05	平成13年度	東京都三鷹市 大沢3-10-20	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (社会福祉学)	1.78	平成16年度	東京都三鷹市 大沢3-10-20	
臨床心理学専攻									
修士課程	2	10	—	20	修士 (臨床心理学)	1.62	平成17年度	東京都三鷹市 大沢3-10-20	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

〈総合人間学部 人間福祉心理学科〉

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授(学長)	イチカワ カズヒロ 市川 一宏 (61)	平成26年4月	コミュニケーションの理論※ 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ ボランティア・市民活動論※ ソーシャルワーク演習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ キャリアアップゼミ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ 高齢者福祉の諸問題 高齢者福祉論 福祉行財政と福祉計画※ 地域開発総論※ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ 卒業論文	専	教授	イチカワ カズヒロ 市川 一宏 (61)	平成26年4月	コミュニケーションの理論※ 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ ボランティア・市民活動論※ ソーシャルワーク演習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ キャリアアップゼミ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ 高齢者福祉の諸問題 高齢者福祉論 福祉行財政と福祉計画※ 地域開発総論※ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ 卒業論文	平成26年3月 学長職 任満了 (26)
専	教授	イトウ ナオズミ 江藤 直純 (65)	平成26年4月	聖書を読む コミュニケーションの理論※ 総合人間学※ スピリチュアリティと聖書の伝統 福祉のキリスト教的源流 隔年 キリスト教の倫理 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	専	教授(学長)	イトウ ナオズミ 江藤 直純 (65)	平成26年4月	聖書を読む コミュニケーションの理論※ 総合人間学※ スピリチュアリティと聖書の伝統 福祉のキリスト教的源流 隔年 キリスト教の倫理 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	平成26年4月 学長就任 (26)
専	教授	ニシハラ ユウジロウ 西原 雄次郎 (67)	平成26年4月	ソーシャルワーク論Ⅱ 就労支援サービス※ ソーシャルワーク演習Ⅰ※ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅳ※ ソーシャルワーク論Ⅳ 障害者福祉の諸問題 更生保護制度論 キャリアアップゼミ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ 卒業論文						
専	教授	ジュームズ・ ザック ザック (62)	平成26年4月	キリスト教の人間観Ⅰ キリスト教の人間観Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業演習Ⅲ 卒業論文						
専	教授	カネコ カズオ 金子 和夫 (61)	平成26年4月	憲法 法学 総合人間学※ 地域開発総論※ 権利擁護と成年後見制度 就労支援サービス※ ソーシャルワーク演習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ キャリアアップゼミ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ 福祉行財政と福祉計画※ 社会福祉特論C 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ 卒業論文						
専	教授	フジイ エイチ 藤井 英一 (63)	平成26年4月	コミュニケーションの理論※ コンピュータ入門Ⅰ コンピュータ入門Ⅱ 総合人間学※ コミュニケーションの演習 生命・生態・進化Ⅰ 生命・生態・進化Ⅱ 海と森の生物Ⅰ 海と森の生物Ⅱ 自然科学の視点Ⅰ 隔年 自然科学の視点Ⅱ 隔年 情報言語コミュニケーションⅠ 情報言語コミュニケーションⅡ						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	フクシマ キヨコ 福島 喜代子 (中山 喜代子) (48)	平成26年4月	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅲ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 ソーシャルワーク演習Ⅳ※ キャリアアップゼミ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅲ 精神保健福祉現場実習 精神保健福祉実習 社会福祉特講B※ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ 卒業論文						
専	教授	カウ ジュン 加藤 純 (56)	平成26年4月	児童福祉の諸問題 子どものプレイセラピー 隔年 虐待への対応 隔年 子ども支援キャリアデザイン 野外活動とキャンプ 子どものグリーフワーク 隔年 児童福祉論 卒業演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ 卒業論文 ターミナルケアとグリーフワーク※						
専	教授	イシイ モトオ 石居 基夫 (54)	平成26年4月	聖書を読む いのち序説 人間・いのち・世界Ⅰ 人間・いのち・世界Ⅱ 神学初級演習 日本における死生学 キリスト教と死生学 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文						
専	教授	タニ ジュンイチ 谷井 淳一 (60)	平成26年4月	総合人間学※ 心理学研究法Ⅰ(統計基礎) サイコドラマⅠ サイコドラマⅡ サイコドラマⅢ サイコドラマⅢ演習 質問紙調査法実習 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業演習Ⅲ 卒業論文 卒業演習プレゼミナール						
専	教授	タカヤマ ユミヨ 高山 由美子 (48)	平成26年4月	社会福祉とキリスト教 隔年 社会福祉入門 社会福祉の基礎 障害者福祉論 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅳ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ キャリアアップゼミ※ 社会福祉特講A※ 卒業論文						
専	教授	オオグシ ハジメ 大串 肇 (57)	平成26年4月	旧約聖書の人間観 ヘブル語※ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文						
専	教授	ジャン・ ジャン・ フレグンズ プレグンズ (57)	平成26年4月	コミュニケーションの理論※ 英語Writing/GrammarⅠ 英語Writing/GrammarⅡ 総合人間学※ 異文化間コミュニケーション※ 隔年 英語Reading 英語Speaking/Listening 英語特別演習(Independent Study) 英語Reading演習A(基礎) 英語Reading演習B(発展) 英語Speaking/Listening 演習 英語Writing 演習 隔年 海外研修						
専	教授	マルヤマ ススム 丸山 晋 (70)	平成26年4月	精神保健 精神医学 卒業論文						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	准教授	ハラシマ ヒロシ 原島 博 (51)	平成26年4月	外国の言語と文化(フィリピン語) 地域開発総論※ 子どもと家族の国際問題と支援 ソーシャルワーク演習Ⅰ※ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅱ キャリアアップゼミ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ 地域支援技法Ⅰ※ 地域支援技法Ⅱ※ 社会福祉と国際協力 多文化ソーシャルワーク 国際社会福祉概説 海外インターンシップ 海外インターンシップ前ゼミ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ 社会福祉英専門書講読 卒業論文 海外研修	専	教授	ハラシマ ヒロシ 原島 博 (51)	平成26年4月	外国の言語と文化(フィリピン語) 地域開発総論※ 子どもと家族の国際問題と支援 ソーシャルワーク演習Ⅰ※ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅱ キャリアアップゼミ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ 地域支援技法Ⅰ※ 地域支援技法Ⅱ※ 社会福祉と国際協力 多文化ソーシャルワーク 国際社会福祉概説 海外インターンシップ 海外インターンシップ前ゼミ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ 社会福祉英専門書講読 卒業論文 海外研修	平成26年4月 教授昇任 (26)
専	准教授	ウエムラ トシフミ 上村 敏文 (53)	平成26年4月	コミュニケーションの理論※ 総合人間学※ コミュニケーションの演習 異文化間コミュニケーション※ 隔年 キャリア概論Ⅰ※ キャリア概論Ⅱ※ 世界の宗教Ⅰ 世界の宗教Ⅱ 日本の宗教Ⅰ 日本の宗教Ⅱ 食といのちと環境Ⅰ 食といのちと環境Ⅱ 文化史 比較文化論 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文						
専	准教授	ティモシー・ ティモシー・ マッケンジー (52)	平成26年4月	聖書を読む 人間・文化とキリスト教Ⅰ 人間・文化とキリスト教Ⅱ キリスト教の歴史Ⅰ キリスト教の歴史Ⅱ いのちのキリスト教史 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	専	教授	ティモシー・ ティモシー・ マッケンジー (52)	平成26年4月	聖書を読む 人間・文化とキリスト教Ⅰ 人間・文化とキリスト教Ⅱ キリスト教の歴史Ⅰ キリスト教の歴史Ⅱ いのちのキリスト教史 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文	平成26年4月 教授昇任 (26)
専	准教授	タソエ マミ 田副 真美 (56)	平成26年4月	心理療法概説 野外活動とキャンプ 心理検査技法Ⅰ 心理検査技法Ⅱ 自律訓練法 ストレス学 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業演習Ⅲ 卒業論文						
専	准教授	ヤマグチ マイ 山口 麻衣 (48)	平成26年4月	地域開発総論※ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅳ※ キャリアアップゼミ※ 社会福祉特講A※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ 福祉サービスの組織と経営 社会福祉調査 福祉実践調査 卒業論文						
専	講師	カワタ マサル 河田 優 (49)	平成26年4月	キリスト教概論Ⅰ キリスト教概論Ⅱ 聖書を読む						
専	講師	タカギ エリコ 高城 絵里子 ヨネヤマ エリコ (米山 絵里子) (37)	平成26年4月	教育心理学 臨床心理実習前演習 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理学概説 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業演習Ⅲ 卒業論文						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	講師	アキサダ ユミコ 秋真 由美子 (高橋 由美子) (44)	平成26年4月	ボランティア・市民活動論※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ 地域支援技法Ⅰ※ 地域支援技法Ⅱ※ ボランティア実習 インターンシップゼミ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ						
専	講師	メラ テツミ 米良 智美 (63)	平成26年4月	カウンセリングの実際						
専	講師	ウエマツ アキコ 植松 晃子 (39)	平成26年4月	カウンセリング実技の基本 カウンセリングの理論 臨床心理英語論文読解Ⅰ 臨床心理英語論文読解Ⅱ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理ワークショップⅠ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業演習Ⅲ 卒業論文	専	准教授	ウエマツ アキコ 植松 晃子 (39)	平成26年4月	カウンセリング実技の基本 カウンセリングの理論 臨床心理英語論文読解Ⅰ 臨床心理英語論文読解Ⅱ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理ワークショップⅠ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業演習Ⅲ 卒業論文	平成26年4月 准教授昇任 (26)
専	講師	イシカワ ヨシヤ 石川 与志也 (39)	平成26年4月	コミュニケーションの演習 教育カウンセリング 臨床心理の倫理 心理療法演習 青年心理学 臨床心理実習Ⅱ	専	講師	イシカワ ヨシヤ 石川 与志也 (39)	平成26年4月	コミュニケーションの演習 教育カウンセリング 臨床心理の倫理 心理療法演習 青年心理学 臨床心理実習Ⅱ	平成26年3月 担当者(兼任) の辞任 により平成 27年度より 担当(26)
専	助教	サイトウ ヨウ 齋藤 有 (27)	平成26年4月	心理学 心理学Ⅱ コミュニケーションの理論※ 心理学基礎実験 臨床心理ワークショップⅠ 人間行動観察実習 臨床心理特講A						
兼任	講師	シライ サネコ 白井 幸子 (74)	平成26年4月	交流分析						
専	教授	フクヤマ カズメ 福山 和女 (71)	平成26年4月	キャリア概論Ⅰ※ キャリア概論Ⅱ※ ソーシャルワーク論Ⅴ						
兼任	講師	フクヤマ カズメ 福山 和女 (73)	平成28年4月	ソーシャルワーク論Ⅵ ターミナルケアとグリーフワーク※ 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉に関する制度とサービス						
専	教授	スズキ ヒロシ 鈴木 浩 (68)	平成26年4月	英語聖書Ⅰ						
兼任	講師	スズキ ヒロシ 鈴木 浩 (70)	平成28年4月	英語聖書Ⅱ						
専	教授	ワダ トシアキ 和田 敏明 (72)	平成26年4月	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ						
兼任	講師	ワダ トシアキ 和田 敏明 (74)	平成28年4月	地域支援技法Ⅰ※ 地域支援技法Ⅱ※						
兼任	講師	アメミヤ ミキ 雨宮 美貴 (40)	平成28年4月	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉現場実習 精神保健福祉実習						
兼任	講師	イチカワ マサコ 市川 雅子 (54)	平成27年4月	医学一般						
兼任	講師	イイ セイコ 飯 靖子 (63)	平成29年4月	礼拝音楽と讃美歌						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	イシイ サモア 石井 砂母亜 (36)	平成26年4月	教養としての哲学 哲学と論理						
兼任	講師	イシイ チカコ 石井 千賀子 (71)	平成27年4月	家族療法						
兼任	講師	イデノ タカシ 井出野 尚 (52)	平成27年4月	産業組織心理学						
兼任	講師	ウエダ タカシ 上田 卓司 (43)	平成27年4月	認知心理学 学習心理学						
兼任	講師	エガワ ユウコ 江川 由希子 フナキユウコ (松木由希子) (51)	平成26年4月	中世史との対話 隔年 近世史との対話 隔年						
兼任	講師	エバタ コロウ 江幡 五郎 (68)	平成27年4月	公的扶助論 就労支援サービス※						
兼任	講師	エモト シンリ 江本 真理 (41)	平成27年4月	旧約聖書原典講読 ヘブル語※						
兼任	講師	オオキ ユカリ 大木 紫 (52)	平成27年4月	生理心理学						
兼任	講師	オオタ カズヒコ 太田 一彦 (60)	平成27年4月	聖書入門Ⅰ(旧約)						
兼任	講師	オオシバ ジョウジ 大柴 譲治 (59)	平成28年4月	キリスト教カウンセリング						
兼任	講師	オオシマ カオリ 大嶋 果織 オオシマ (大嶋かおり) (58)	平成27年4月	人間の尊厳と人権 子どもと教育						
兼任	講師	オグラ ケイコ 小倉 啓子 (72)	平成27年4月	心理学研究法Ⅱ(質的研究)						
兼任	講師	オグラ ツネアキ 小倉 常明 (48)	平成26年4月	社会福祉の歴史						
兼任	講師	オザキ シンゾウ 尾崎 眞三 (58)	平成27年4月	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ						
兼任	講師	オサダ タカシ 長田 律 (41)	平成27年4月	臨床心理実習前演習 臨床心理実習Ⅰ	専任	講師	イシカワ ヨシヤ 石川 与志也 (39)	平成27年4月	臨床心理実習前演習 臨床心理実習Ⅰ	平成26年3月 長田律の辞 任により担 当交代 (26)
兼任	講師	オダ アキコ 織田 晶子 (41)	平成26年4月	ドイツ語 初級B(文法) ドイツ語 中級B(文法)						
兼任	講師	キオカ ケイコ 喜岡 恵子 (53)	平成27年4月	人格心理学						
兼任	講師	キシ チヨ 岸 千代 (53)	平成26年4月	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ						
兼任	講師	キスカワ ヒサコ 絹川 久子 (78)	平成28年4月	聖書に見るジェンダー 隔年						
兼任	講師	キベ タカシ 木部 尚志 (50)	平成26年4月	政治学(国際政治を含む) 隔年						
兼任	講師	キム トエ 金 元恵 (62)	平成26年4月	外国の言語と文化 初級(韓国語) 外国の言語と文化 中級(韓国語)						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	クロキ アキラ 黒木 章 (70)	平成26年4月	キリスト教文学特講Ⅰ 隔年 キリスト教文学特講Ⅱ 隔年 文学Ⅰ 隔年 文学Ⅱ 隔年						
兼任	講師	クリタ アキヨ 栗田 明子 (37)	平成27年4月	心理学基礎実験 心理学研究法Ⅲ(データ解析)						
兼任	講師	コイズミ ユウコ 小泉 裕子 (60)	平成27年4月	SST						
兼任	講師	コダカ マナミ 小高 真美 (39)	平成27年4月	精神障害者の生活支援システム ソーシャルワーク実習指導Ⅳ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉現場実習 精神保健福祉実習						
兼任	講師	コハタ ノブコ 木幡 伸子 (51)	平成27年4月	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ						
兼任	講師	サカモト シンジ 坂本 真士 (48)	平成27年4月	社会心理学						
兼任	講師	シバザワ タツコ 澁澤 田鶴子 (62)	平成28年4月	家族福祉論						
兼任	講師	シモノモト ナオミ 下ノ本 直美 (56)	平成26年4月	介護概論						
兼任	講師	ショウダ ヒサコ 正田 久子 (66)	平成27年4月	SST						
兼任	講師	ススキ アオイ 鈴木 あおい (53)	平成29年4月	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉現場実習 精神保健福祉実習 社会福祉特講B※						
兼任	講師	セキメ アヤコ 関目 綾子 (37)	平成28年4月	小児と高齢者の栄養	兼任	講師	ナカツカワ 中津川 かおり (38)	平成28年4月	小児と高齢者の栄養	平成26年3月 関目綾子の 辞任により 担当交代 (26)
兼任	講師	タカイ ヤスオ 高井 保雄 (65)	平成27年4月	ドイツ語聖書						
兼任	講師	タカハシ シン 高橋 伸 (61)	平成27年4月	レクリエーションとグループリーダー	兼任	講師	ハンモト カズヒデ 橋本 和秀 (46)	平成27年4月	レクリエーションとグループリーダー	平成26年3月 高橋伸の 辞任により 担当交代 (26)
兼任	講師	タジマ ヤスリ 田島 靖則 (51)	平成27年4月	キリスト教と生命倫理						
兼任	講師	タナベ トシヒコ 田辺 俊彦 (57)	平成26年4月	地球と宇宙Ⅰ 隔年 地球と宇宙Ⅱ 隔年						
兼任	講師	タニグチ リツ 谷口 利律 サカマ リツ (佐久間 利律) (36)	平成26年4月	教育学						
兼任	講師	ツカサキ キョウコ 塚崎 京子 (53)	平成27年4月	発達心理学(発達障害を含む)						
兼任	講師	ドイル アヤコ ドイル 綾子 (29)	平成26年4月	日本語特講(留学生)Ⅰ 日本語特講(留学生)Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	トミタエミヨ 富田恵美子 ドロテア ・ドロフ (53)	平成26年4月	ドイツ語 初級A(読本・会話) I ドイツ語 初級A(読本・会話) II ドイツ語 中級A(講読・会話) I 隔年 ドイツ語 中級A(講読・会話) II 隔年						
兼任	講師	ナカノ サヨコ 中野 佐世子 (52)	平成26年4月	聴覚障害者のコミュニケーション						
兼任	講師	ナカムラ ユキ 中村 有希 (38)	平成27年4月	臨床心理英専門書講読A 臨床心理英専門書講読B						
兼任	講師	ナナキダ フヒコ 七木田 文彦 (39)	平成26年4月	ｽﾎｰｯと健康(体育実技を含む) A ｽﾎｰｯと健康(体育実技を含む) B	兼任	講師	キタザワ タカヤ 北澤 太野 (27)	平成26年4月	ｽﾎｰｯと健康(体育実技を含む) A ｽﾎｰｯと健康(体育実技を含む) B	平成26年3月 七木田文彦 の辞任に より担当交代 (26)
兼任	講師	ニシタ アキトシ 西下 彰俊 (57)	平成26年4月	社会学 社会学II						
兼任	講師	ニシムラ カオル 西村 馨 (49)	平成27年4月	精神分析学						
兼任	講師	フカイ リリコ 深井 季々子 (69)	平成28年4月	キリスト教育実技I キリスト教育実技II キリスト教育実技III						
兼任	講師	フジカケ アキラ 藤掛 明 (56)	平成27年4月	犯罪心理学						
兼任	講師	ホリ ハジメ 堀 肇 (70)	平成28年4月	家族心理学						
兼任	講師	ホリコシ ユキコ 堀越 由紀子 ヌデシマ ユキコ (橋島 由紀子) (61)	平成28年4月	保健医療サービス						
兼任	講師	マシモ ヤヨイ 真下 弥生 (39)	平成27年4月	美術史 隔年 キリスト教美術特講 隔年						
兼任	講師	ミドリカワ アキラ 緑川 晶 (44)	平成27年4月	神経心理学						
兼任	講師	ミヤウチ タマキ 宮内 珠希 (42)	平成27年4月	ソーシャルワーク実習指導I ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習指導III ソーシャルワーク実習指導IV ソーシャルワーク実習I						
兼任	講師	ミヤモト アラタ 宮本 新 (41)	平成26年4月	キリスト教の信仰 聖書入門II(新約) 新約聖書の人物像 聖書を読む						
兼任	講師	ミヤギ マリ 宮城 真理 (63)	平成27年4月	介護技術演習						
兼任	講師	ムラカミ ヨシツブ 村上 義次 (50)	平成27年4月	発達障害の理解						
兼任	講師	リ ナ 李 明生 (46)	平成28年4月	新約聖書原典講読						
兼任	講師	リンダ・ダイナス リンダ・ダイナス (62)	平成26年4月	英語Reading 英語Speaking/Listening 英語Writing/Grammar I 英語Writing/Grammar II 英語Speaking/Listening 演習	兼任	講師	ムロガ イコ 室賀 郁子 (53)	平成26年4月	英語Reading 英語Speaking/Listening 英語Writing/Grammar I 英語Writing/Grammar II 英語Speaking/Listening 演習	平成26年3月 リンダ・ダイナス の辞任に より担当 交代(26)
兼任	講師	ヤギサワ カナコ 八木澤 奏子 (42)	平成26年4月	外国の言語と文化 初級(中国語) I 外国の言語と文化 初級(中国語) II						
兼任	講師	ヤマナシ ユウコ 山梨 有子 (46)	平成27年4月	保育原理と保育士の専門性						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	ユグチ ヨリコ 湯口 依子 (60)	平成28年4月	キリスト教音楽実技Ⅰ キリスト教音楽実技Ⅱ キリスト教音楽実技Ⅲ						
兼任	講師	ヨシムラ ジュンコ 吉村 順子 (60)	平成27年4月	絵画療法 箱庭・コラーージュ療法						
兼任	講師	ヨシムラ ヒロアキ 吉村 博明 (54)	平成26年4月	ギリシア語						
兼任	講師	フタナベ クミコ 渡邊 公実子 イタノ クミコ (板野 公実子) (44)	平成26年4月	音楽の基礎 音楽の実際						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
14	5	6	1	26	19	4	5	1	29	70	3
(17)	(5)	(6)	(1)	(29)	[2]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1		該当なし	

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任(就任辞退を含む)等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<総合人間学部 人間福祉心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成21年6月 FD委員会を設置 平成5年 自己評価委員会を設置

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は、毎月1回（長期休暇時期を除く）実施している。委員会は、学長、各学科長、教養主任、大学院研究科長、各専攻主任、事務責任者で構成している。（平成25年度は教員8名、職員2名）

平成25年4月25日（水） 出席者5名（内教員4名） 平成25年5月29日（水） 出席者10名（内教員8名）
 平成25年7月24日（水） 出席者10名（内教員8名） 平成25年9月25日（水） 出席者10名（内教員8名）
 平成25年10月30日（水） 出席者9名（内教員7名） 平成25年11月27日（水） 出席者9名（内教員7名）
 平成25年12月18日（水） 出席者7名（内教員6名） 平成26年1月22日（水） 出席者8名（内教員6名）
 平成26年2月26日（水） 出席者10名（内教員8名）

c 委員会の審議事項等

- ・教職員の教育研究、業務の改善を目的とする研修に関する事項
- ・学生による授業評価の実施、結果分析に関する自己評価委員会の報告を受けて、改善計画の策定もしくは実施に関する事項
- ・教職員のFDに関わる制度や仕組みの検討及び実施に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD研修会の開催
- ・授業評価アンケートの実施
- ・学科別、学科共通科目の検討、維持、改善

b 実施方法

- ・FD研修会を教職員合同で年4～5回実施する。
- ・授業評価アンケートは、前期後期で交互に年1回実施する。
- ・各学科、教養部門で科目の見直し、授業の方法等を検討する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD研修会（平成25年6月26日、9月13日、12月18日、2月13日、3月12日に実施）
原則、全教職員が参加することとしている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・平成25年度は、翌年度に開設する新学科体制について、学生への教育的な支援を中心にテーマを設けて研修会等を実施した。本学の特色である教職員合同で実施することにより、学内全体で学生支援の方針、方法等の共通理解を図ることができた。また、本学の教育の基礎となるテーマ（建学の精神、権利擁護、対人援助等）でも研修会を実施し、教職員の相乗的な効果が得られていると考えている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・平成25年度は前期に実施（1年ごとに前期、後期交互に実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価報告書はホームページに掲載している。
- ・教員に対しては個別の科目ごとの授業評価と全体の分析データを配布している。
- ・学科・専攻・部門別に授業評価の分析データを作成し、それぞれの学科等で授業の実施方法等の検討を行う。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、多様な人間の全人的理解を求める総合人間学部のもと3つの学科を設置し、それぞれの対人援助の専門職を養成してきたが、今日の現場においては3つの専門教育がより有機的に統合され、教育の段階から具体的な現場への多面的アプローチについて学ぶことが必要とされていると認識にいたり、「人間福祉心理学科」へ再構成し、今日の状況における実際の社会養成に応える学際的研究と教育の実現を推進することを設置の趣旨としている。

支援を行う現場、職種は様々な可能性はあるが、5つの人材養成像を掲げ学生本人の希望・適正に応じて、具体的なキャリア形成を行うこととしている。これら5つの人材養成に合わせた履修モデルについて学生本人がどれを軸にしていくかは、2年次までに行うこととしているが、現在調査を行ったところ5つのモデルに適度に分散していることが分かっている。

年間4回の意向調査と選択のための相談会を行うことを新たに定め、それに併せて学生の教学支援、生活支援等の相談ができる機会を設けた。

今後、これらの調査や相談会のあり方の検証を行いつつ、新設学科に対する学生の支援について整備ができたと考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成26年7月31日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書をホームページ上に公開予定（平成26年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成26年6月30日)